



梅雨が終わると、急に暑さが増し気候の変化を大きく感じる時期です。本格的な夏もすぐそこまで来ています。暑さの中でも、子どもたちはお散歩や外遊びを元気いっぱい楽しんでいます。

これから、プール遊びや水遊びも増えていく一方で、夏風邪のウイルスが流行り始めている状況でもあります。今年の夏も様々な感染症や熱中症に注意し、こまめな水分補給を行いながら体調管理に気をつけて過ごしていきましょう。

夏風邪に気をつけて

●咽頭結膜炎(プール熱) アデノウイルス

その名の通り、のど(咽頭)と目(結膜)に炎症が起こり、高い熱が出ます。移りやすいため、家族みんなでこまめに手を洗い、タオルなどの共有はやめましょう。

- 特徴**
- ・38～40度の高い熱が数日続くことも
 - ・のどが痛む
 - ・白目が充血(赤くなる)し、まぶたが腫れる、涙や目やにがでる

【登園再開の目安】

熱や目の症状が治まった後、2日経過したら

●ヘルパンギーナ

突然高い熱が出て、数日続きます。口の中に水ぶくれができ、2～3日ほどで破れて潰瘍になって痛みます。原因となるウイルスが複数あるため、何度もかかることがあります。

- 特徴**
- ・口の中、のどの白っぽい水ぶくれができる

【登園再開の目安】

熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普通の食事が摂れるようになったら

●手足口病

最初に口の中にポツポツができ、痛みのため飲んだり食べたりするのを嫌がります。この時に熱は出ますが、半数は熱を伴いません。その後、手のひら・足の裏に赤っぽい水ぶくれができ痛みます。原因となるウイルスが複数あるため、何度もかかる可能性があります。

- 特徴**
- ・口の中のポツポツが痛むため、飲んだり食べたりするのをいやがる
 - ・手のひらや足の裏にポツポツができる
 - ・腹部・おしりにでることもある



【登園再開の目安】

熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普通の食事がとれるようになったら

— 登園許可証について —

登園許可証には**保護者記載**と、**医師記載**の2種類があります。感染症罹患後の登園時に必要となりますのでご協力お願いいたします。

*用紙は園にありますのでご確認ください。

— 熱中症対策 —

気温が高いと皮膚から熱が放出されにくくなります。また、湿度が高いと汗が蒸発しにくくなります。体の水分が少なくなると、体内の循環が悪くなり、体が暑さに慣れていないため熱の放出がうまくいかず、熱中症になってしまいます。



- ・顔色や汗のかき方を注意してみる。
- ・暑い環境で長い時間過ごす場合には、適宜、涼しい場所での休憩と、十分な水分・適度な塩分補給を行う。
- ・子どもの顔が赤く、大量に汗をかいている場合には深部体温が上昇していることが考えられるため、涼しい場所で休み、水分や塩分を補給する。

※熱中症の対策・対応は園に掲示しています。

蚊に刺されたら



蚊 に刺された

子どもは、刺されてしばらくたってから、びっくりするほど大きく腫れて水ぶくれができることがあります。かき壊さないよう、早めに手当てしましょう。

ケア



- ① 刺されたところを水で洗い流します。
- ② 濡らしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当てて冷やしかゆみを和らげます。その後、かゆみ止めを塗るとよいでしょう。

とびひ がでたとき

皮膚をかきむしって、傷ができたところに細菌が感染して、じくじくした湿疹ができます。とびひは感染力が強いうえに、かいた手で体の他の部分を触ると、そこにも湿疹が広がります。

ケア

なかなか治らない
時は受診しましょう。

- ① シャワーを浴び、皮膚の清潔を保ちます。かき壊して広がるため、爪を短く切り周りに感染するのを防ぐためにガーゼで保護をする。